

5. 「地域の課題等の解決につなげる」について伺います。

質問 14 南海トラフ巨大地震発生後、不安に思うことは何ですか？

あてはまるものを 3つ以内 で、お選びください。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 安全な場所への避難 | <input type="checkbox"/> 仮住まいの生活や環境 |
| <input type="checkbox"/> 元の生活への復帰 | <input type="checkbox"/> 地域コミュニティの喪失 |
| <input type="checkbox"/> 仕事の再開 | <input type="checkbox"/> 飲料水や物資の確保 |
| <input type="checkbox"/> 心身の健康管理 | <input type="checkbox"/> 医療体制 |
| <input type="checkbox"/> 家族との連絡 | <input type="checkbox"/> 歴史・文化の消失 |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

質問 15 大規模災害が発生すると、地域が元々抱えていた課題が明らかになったり、さらに深刻になったりします。復興を進めるにあたり、こうした問題に向き合い、より良い方向へ進むよう課題を解決していくことが大切です。現在、お住まいの地域で災害後、特に課題となりそうなことは何ですか？

あてはまるものを 3つ以内 で、お選びください。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 高齢化の進行 | <input type="checkbox"/> 少子化の進行 |
| <input type="checkbox"/> 人口減少の進行 | <input type="checkbox"/> 若年層・子育て世代が住みにくい |
| <input type="checkbox"/> 医療・福祉サービスの不足 | <input type="checkbox"/> 移動手段・交通手段の不足 |
| <input type="checkbox"/> 産業の衰退 | <input type="checkbox"/> 地域コミュニティの希薄化 |
| <input type="checkbox"/> 公共施設・インフラの老朽化 | <input type="checkbox"/> 行政支援の不達 |
| <input type="checkbox"/> 特にない/分からない | |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

質問 16 地域の復興に際し、あなたが特に重要だと思うものは何ですか？

あてはまるものを 3つ以内 で、お選びください。

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防災対策の充実 | <input type="checkbox"/> 医療・福祉の充実 |
| <input type="checkbox"/> 子育て・教育環境の充実 | <input type="checkbox"/> 生活の利便性 |
| <input type="checkbox"/> 歴史・文化・自然の保全 | <input type="checkbox"/> 迅速な復旧・復興 |
| <input type="checkbox"/> 産業の振興 | <input type="checkbox"/> 地域コミュニティの維持 |
| <input type="checkbox"/> 特にない/分からない | |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

6. 「地区の復興イメージ」について伺います。

質問 17 高知県では、大規模災害発生後の復興について、東日本大震災の被災市町村が行った復興に伴う市街地整備の事例を基に、大きく4つのパターンに大別しています。南海トラフ巨大地震発生後、お住まいの地域の復興に向けて、どのような形のまちづくりが望ましいと考えますか？あてはまるものを 1つ お選びください。

現地再建：今の場所にそのまま都市を復興

現地再建 復興パターン図

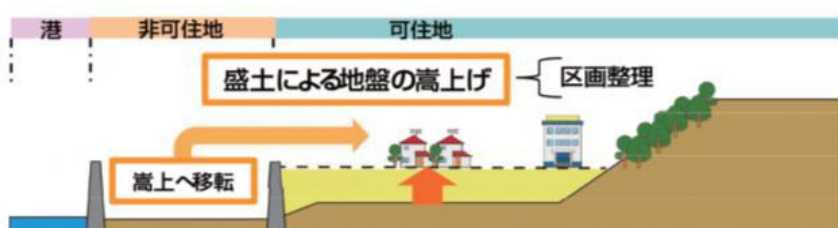


★メリット：復興までの期間が比較的短くなりやすい。住み慣れた地域に戻れる安心感があり、地域コミュニティも維持しやすい。

★デメリット：高い堤防を整備するため、眺望や景観が失われる可能性がある。また、※L2津波を防ぐことは難しく、巨大地震・津波には避難の必要がある。

嵩上げ再建：今の場所を盛土などで地盤を高くして復興

嵩上げ再建 復興パターン図



★メリット：現地再建と同様、住み慣れた地域に戻れる安心感、地域コミュニティが維持しやすい。

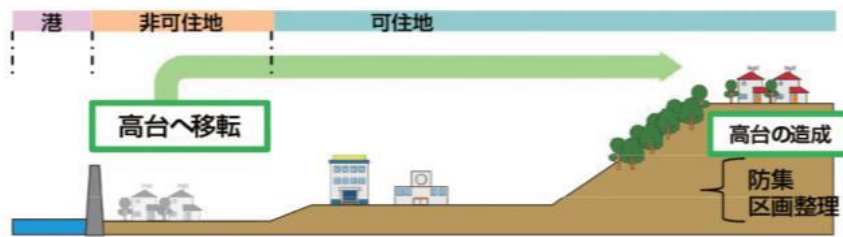
★デメリット：盛土造成のための利害関係者が多く、そのための調整時間が長期化すると復興に時間がかかる可能性がある。※またL2津波からの避難が必要となる可能性がある。

※L2津波：数百年～千年に一度程度の頻度で発生する最大クラスの津波

参考：中土佐町の最大津波想定高さは22mとなっています。

- 新市街地整備：高台や浸水区域外に都市を復興

新市街地整備 復興パターン図

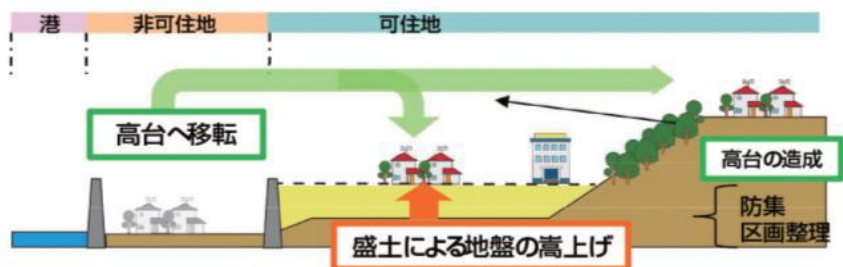


★メリット： 高台への移転により、将来的な災害リスクが大幅に軽減される。

★デメリット： 移転に伴う心理的負担や、地域コミュニティの分断の可能性がある。
また、高台造成に時間がかかるため、復興までに長時間を要する可能性が高い。

- 嵩上げ再建 + 高台移転：②と③を組み合わせた復興

嵩上げ再建 + 高台移転 復興パターン図



★メリット： 地域や住民のニーズに応じた柔軟な再建が可能。

★デメリット： 住民間で希望が分かれたり、調整に時間を要したりする可能性がある。
また、高台造成に時間がかかるため、復興までに長期間を要する可能性が高い。

※L2津波：数百年～千年に一度程度の頻度で発生する最大クラスの津波

参考：中土佐町の最大津波想定高さは22mとなっています。

※上記は基本の4パターンとして掲載しております。それ以外でご意見やご提案などがあれば、【質問19】にご記入ください。

